

2006年3月28日

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(ヘラクレス 証券コード番号:2321)

神奈川県川崎市麻生区南黒川6-2
株式会社ソフィアシステムズ
代表取締役社長 樫平 扶
(JASDAQ 証券コード番号:6942)

**ソフトフロント、ソフィアシステムズとプレゼンス機能を搭載した
携帯情報端末開発キット提供を開始し、IDF JAPAN 2006へ出展
～ Windows Mobile/CE 対応プレゼンスライブラリの提供を開始～**

株式会社ソフトフロント(本社:札幌市、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)と株式会社ソフィアシステムズ(本社:川崎市、代表取締役社長:樫平 扶 以下、ソフィアシステムズ)は、ソフィアシステムズの携帯情報端末開発用コンセプトモデル「Sandgate VoIP Phone (以下、SGVP)」にプレゼンス機能を搭載いたしました。両社は4月6日、7日に開催される「インテル・デベロッパー・フォーラム JAPAN 2006」の両社ブースに出展いたします。

ソフトフロントは、Windows Mobile/CE 対応のプレゼンスライブラリをソフィアシステムズのSGVPに搭載したことにより、機器開発メーカーがIP通信に対応したネットワーク機器にプレゼンス機能(*)を短期間で容易に搭載することを可能にいたしました。本製品は、今後大きな成長が見込まれるIMS、FMC(**)といった携帯電話や、情報家電で動作するプレゼンスアプリケーション開発時の利用を想定しています。

ソフィアシステムズのSGVPは、無線LANを利用したIP電話と、PHSによる通話が可能な通信端末をイメージして開発された、ハイブリッド携帯情報端末開発キットです。ソフトフロントのSIP(*3)/VoIP(*4)ミドルウェアとインテルPXA270プロセッサ、Windows CE 5.0がインテグレートされたSGVPを使用する事により、機器開発メーカーは携帯情報端末の開発を短期間で行うことが出来ます。

ソフトフロントとソフィアシステムズは共同で、ハードウェアからソフトウェアに至る、開発環境から最終製品開発までのサービス提供、SIP/VoIP製品市場の拡大に向けたソリューション提供を行っており、今回のSGVPへのプレゼンス機能の搭載もこの一環として進めております。両社は今後とも携帯電話や情報家電・通信機器メーカーが既存製品の付加価値を高める、新たなサービスへの活用や市場の開拓に努めてまいります。

(ご参考)

【インテル・デベロッパー・フォーラム JAPAN 2006 (IDF JAPAN 2006) 出展概要】

日程 : 2006年4月6日(木)～7日(金)
場所 : 東京プリンスホテルパークタワー
出展小間 : コミュニケーション & エンベデッドプラットフォームパビリオン
E35(ソフトフロント)、S4(ソフィアシステムズ)
出展内容 : ソフィアシステムズ「SGVP」を中心とした携帯情報端末へ搭載したSIP/VoIPアプリケーション

【Windows Mobile/CE 対応プレゼンスライブラリ概要】

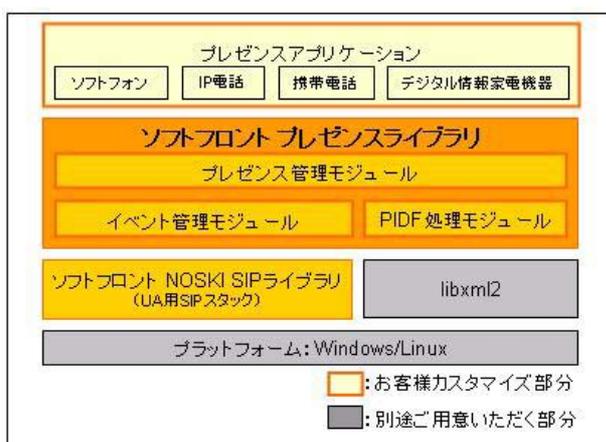
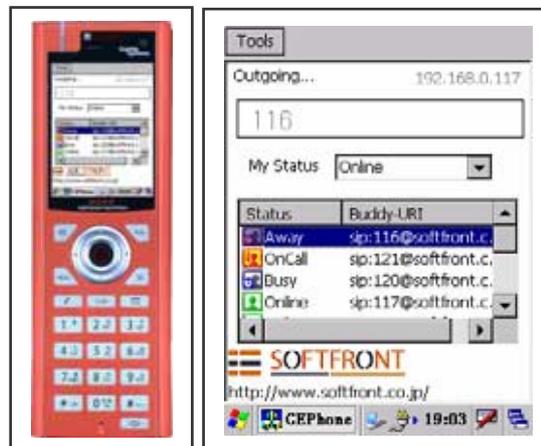
提供形態 : NOSKI SIP Library の上位ライブラリとして販売
特長 : プレゼンスアプリケーションの開発に特化した、使いやすいAPI
プレゼンティティ、ウォッチャーなどプレゼンスシステムを構成するSIPユーザーエージェントを短期間で開発する事が可能

対応 RFC 及びその機能:

- RFC3261: SIP: セッション開始プロトコル
- RFC3265: SIP 特有のイベント通知
- RFC2617: HTTP 認証
- RFC3515: SIP Refer メソッド
- RFC3856: SIP のプレゼンスイベントパッケージ
- RFC3857: ウォッチャー情報イベントテンプレートパッケージ
- RFC3858: ウォッチャー情報のための XML ベースの書式
- RFC3863: プレゼンス情報データ書式(PIDF)
- RFC3903: イベントステート発行のための SIP 拡張

【プレゼンスライブラリラインナップ】

対応 OS : Linux、Windows OS、Windows CE、Windows Mobile

【プレゼンスライブラリ モジュール構成】

【プレゼンス機能アプリケーション画面イメージ】


(*1) プレゼンス機能

予め登録した相手の状態を「在席中」、「会議中」、「外出」のステータス表示によりリアルタイムに確認できる機能。現在は主にパソコン用のインスタントメッセンジャーなどで利用されている。今後、携帯端末や、情報家電への応用により、更にコミュニケーションの効率化を図る事が出来る。

(*2) FMC (Fixed Mobile Convergence)

固定電話と携帯電話の融合のこと。これにより、通信事業者が提供する固定電話と携帯電話のサービスを1つの端末で利用できるようになる。

(*3) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)。Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載が目目されている。

(*4) VoIP (Voice over Internet Protocol)

IP ネットワークを利用した音声通話の技術一般を指す。現在、注目されている IP 電話は、この技術を応用したもの。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立のソフトウェア開発企業です。SIPとVoIPを核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。また、業界標準プロトコルになりつつある SIP に早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきたSIPとVoIPに関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社技術の普及を図る「SIP パートナープログラム」事業に注力しています。さらに現在は、各種CPU / OS ベンダーとの連携により、SIP 開発環境の拡充を図っております。
URL: <http://www.softfront.co.jp>

株式会社ソフィアシステムズ

株式会社ソフィアシステムズは 1975 年に設立され、30 年にわたり一貫して組込みシステム分野でリーダー的役割を担ってきました。現在では、各種OSを利用したアプリケーションプロダクト開発を容易に達成するための、包括的な開発ソリューションを提供しています。現在でもソフィアシステムズは、日本の組込みシステム開発テクノロジーによるリーダーであり、新製品の開発と改良を常に行っています。ソフィアシステムズは、国内では東京および名古屋・大阪に営業拠点があります。また海外では、北米、その他アジアや中東、ヨーロッパに、販売代理店網があります。
URL: <http://www.sophia-systems.co.jp> (日本語) <http://www.sophia.com> (英語)

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当

(札幌本社) 内海 電話:011-623-1035 FAX:011-623-1002

(東京本社) 中村 電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail: press@softfront.co.jp

株式会社ソフィアシステムズ

企画部企画・マーケティングG

電話:044-989-7245 FAX:044-989-7005

E-mail: market@sophia-systems.co.jp

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SPP 事業本部 営業グループ

電話:03-3568-7009 FAX:03-3568-7008

URL: <http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html>

株式会社ソフィアシステムズ

DA営業部 部

電話:0440-989-7253 FAX:044-989-7014

E-mail: market@sophia-systems.co.jp